



新庄最上の
スキー場に
遊びに来てね

最上エコポリス通信

2018年12月号

— mogami ecopolis tsushin —

山形県最上総合支庁

平成30年度第2回地域議員協議会を開催しました

11月16日（金）、最上総合支庁に於いて、平成30年度第2回最上地域議員協議会が開催され、地域選出の4名の県議会議員の出席のもと、最上地域における課題や施策展開について調査・審議が行われました。



審議に先立ち、須藤支庁長が8月の大雨による被害概要と対応状況、若者定着・人材確保の取組み等について説明した後、各議員から質疑がなされ、活発な意見交換が行われました。

【 質疑の主な内容 】

- ◇8月の豪雨災害の復旧対応や河道確保について
- ◇改築後の県立新庄病院における医療と介護・福祉の連携について
- ◇道の駅について
- ◇非正規労働者の正規雇用の促進について

総務課 29-1211

全国農業担い手サミットinやまがた 最上地域交流会

11月7日（水）～9日（金）まで、全国から認定農業者、農業関係機関・団体等の意欲ある農業の担い手が参加し、互いに研鑽・交流する「全国農業担い手サミットinやまがた」が本県で開催されました。

最上地域でも、認定農業者の会、市町村、農協と総合支庁が地域実行委員会を組織して準備にあたり、最上地域交流会が開催されました。

8日に大地会館（新庄市）で開催された交流会では、県内外から222名が参加し交流を深めるとともに、最上地域の食材をふんだんに使った料理の提供や試飲食コーナーでの特産品のPRやプロジェクターを使った最上地域と管内8市町村の紹介、「新庄まつり囃子」等のもがみの伝統芸能の唄と踊りの披露など、最上地域を大いにPRしました。

翌9日には、現地研修会として、県外参加者が4コースに分かれ、最上地域の農業等の取組みを視察していただき、最上地域の農業の情報発信と情報交換を行いました。



農業振興課 29-1319

「最上の地域医療を考える住民のつどい」が開催されました

11月12日（月）、新庄市民プラザを会場に「最上の地域医療を考える住民のつどい」が開催され、約300名が参加しました。このつどいは、地域における医療の実情を知り、地域住民が自分たちができることをそれぞれの立場で考え、行動するきっかけ作りとするために開催されており、今年で5回目となります。



今年は、県立新庄病院内科・消化器病専門医の堀内英和氏から、「ピロリ菌除菌を中心とした胃がん予防と早期胃がんに対する内視鏡治療について」と題した講演が行われ、胃がんの統計やピロリ菌とその除菌の効果、胃がんの治療方法等について説明していただきました。また、公益財団法人やまがた健康推進機構最上検診センターの岩渕佐代子氏から、「最上地域のがん検診の状況について」の情報提供があり、精密検査の重要性等の話がありました。

保健企画課 29-1256



「ユマニチュード研修会」を開催しました

11月1日（木）、新庄市民文化会館に於いて「ユマニチュード®研修会～優しさを伝える技術～」（もがみ地域在宅医療推進研究会等が共催）を開催しました。日本におけるユマニチュードの第一人者である、独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科医長の本田美和子氏が講師を務め、県内から約150人の医療・介護関係者が参加しました。

「ユマニチュード」とはフランス生まれの認知症患者向けのケア技法のことです。研修会では、「見る」「触れる」「話しかける」「立つ」という基本的な概念についてスライドやインストラクターの実技を交えながら説明されました。

参加者からは、「コミュニケーションがケアのもとということを改めて実感」、「こういったケアが広まれば、ケアする人・される人の双方が楽になれる」、「現場で実践していきたい」等前向きな感想が多数寄せられました。

保健企画課 29-1256



「最上地域での働き方・暮らし方を考える会」を開催しました

11月2日（金）に舟形町立舟形中学校に於いて、舟形中学校3年生43名を対象として、標記のイベントを開催しました。地域で活躍している女性の活動を中学生に紹介し、その方々との交流を通じて、この地域に目を向け、自分の将来やライフスタイルを考えるきっかけづくりにしてもらうための取組みとして最上地域女性応援会議に委託し実施しました。

中学生との交流では、活動を始めたきっかけ、やっていた良かったこと、最上地域の魅力などが話されました。参加した中学生からは、「自分の興味のあることをすることが大事だと思った。」「行動力が凄いと思った。」「自分は今進路で悩んでいるが、皆さんの話を聞いて、自分の好きな道についてもっと調べてみようと思った。」などの意見がありました。

子ども家庭支援課 29-1245



子育て支援者向け研修会「保育所保育指針の改定～乳幼児教育を中心に～」を開催しました

10月28日（日）に最上総合支庁講堂に於いて、大妻女子大学阿部和子教授を講師として、標記研修会を開催しました。定員150名のところ、大きく上回る180名の保育士や子育て支援者の参加がありました。また、アンケートでは、回答者の65%が「大変参考になる」、34%が「参考になる」を選択しており、大変有意義な研修内容となりました。アンケートでは、「生活や遊びを通じて学ぶことが、乳幼児教育の基本と確認できた。」「保育者という仕事の重要さ、重

大さを感じた。」「保育者が変わることで、子どもの考えをよく聞き、理解することが必要である。」「子どもの存在を受け止められる保育士でいたい。」などの意見がありました。子育て支援者が「学びへの支援」についての理解を深めることにより、地域の保育の質を向上し、豊かな子育て環境をつくる一助となりました。

子ども家庭支援課 29-1245



もがみを元気にする意見交換会(建設分野)

11月1日に新庄神室産業高校に於いて「もがみを元気にする意見交換会(建設分野)」を開催し、同校の2年生35名に参加してもらいました。パネルディスカッションでは、最上地域の建設分野で実際に活躍している若者6人から、写真とリアルな会話で仕事に対する夢や誇り、最上を元気にする思いについて具体的なお話しをしていただきました。



意見交換では進路選択を控えた高校生からの職場環境などについて、地元で働く先輩として山形県建設業協会最上支部青年部員の方々と意見交換を行いました。事後アンケートには、「最上地域がもっと景気良く活発な地域になってほしい」と「土木の仕事で人の役に立てるようにしたい」「重機のオペレーターになり人の役に立ちたい」など、多くの最上地域の未来に期待することや夢が寄せられました。

建設総務課 29-1391

MOGAMIルーキーズカレッジ2018 秋



11月20日(火)、最上地域内の1~3年目の社会人34名が、事業所の垣根を越えて、若手同士が学びあう「第2回ルーキーズカレッジ」を開催しました。

最上地域では、新規高卒者の就職後3年以内の離職率は43.6%と、県全体の27.1%に比べて高く、まだ勤務年数の若い社会人特有の不安や悩みを解消し、意欲高く働き続けるための取組みが求められています。

研修では、インタビュー・コミュニケーション、「伝える力」のアップなど、ワークを通じて、「地域同期」の形成や将来を考えてみました

2回目ともなり、参加者のうちとけ度はグンとUP!!

地域産業経済課 29-1309



しごとトーク

「新庄南高等学校第1学年進路保護者会 保護者進路セミナー」

11月10日(土)、新庄南高等学校1学年の進路保護者会(約30名参加)を、新庄南高等学校と最上総合支庁と共催で開催しました。

山形大学 松坂暢浩准教授と新南OB・OGのお二人とのトークセッションでは、地元就職の理由や就職にあたっての親との関わりなど、実体験を話してもらい、保護者の皆さんに、今のうちから親としてできることを考えていただきました。

地域産業経済課 29-1309



「進路を考える学習会」を開催しました

11月7日（水）に新庄市立新庄小学校（6年生80人）で、また、11月22日（金）には真室川町立真室川小学校（6年生42人）で、医療・介護職に関する学習会を開催しました。新庄小学校では薬剤師・看護師・理学療法士・介護福祉士の方々が、真室川小学校では薬剤師・看護師・理学療法士の方々が講師となり、具体的な仕事内容・やりがい等の講話と各職種の体験学習を行いました。

楽しく医療・介護職を学ぶ姿が見られ、児童の皆さんからは「今まで知らなかった仕事についても知ることができ、体験もできて楽しかった」「私も将来人の役に立つ仕事がしたい」といった感想がありました。

保健企画課 29-1256



「最上地域森の感謝祭2018」の開催

最上地域の豊かな自然に感謝し、「県民参加の森づくり」を一層推進するため、「最上地域森の感謝祭2018」が11月17日（土）に戸沢村にある「いきいきランドぽんぽ館」の周辺で開催されました。

今回は「みんなで守ろう 故郷の森」を開催テーマに、「角川太鼓」による豪快な演奏で開幕し、森づくりリレー旗伝達、緑化功労者の表彰、記念植樹などが行われました。そのほか、歩道へのチップ敷き、さくら等への施肥、チェーンソーアートの実演など賑やかにイベントがおこなわれました。

当日は雨が降ったり止んだり、冬が近づいていると感じる天候でしたが、参加者の熱気がそれを吹き飛ばしたような気がしました。

森林整備課 29-1348



平成30年度区長協議会等役員を対象とした研修会及び情報交換会

11月22日（木）、最上地域の区長会や区長協議会を対象とした研修及び情報交換会を開催しました。今回のテーマは「災害時の助け合い」です。この8月、最上地域は度重なる豪雨に見舞われ、多数の被害が発生しました。そんな時大きな力となったのがボランティアだったことから、災害ボランティアセンターを設置運営した戸沢村社会福祉協議会の事例紹介の他、東北公益文科大学武田真理子教授から「災害と福祉まちづくり」について講話をいただきました。

その後、8グループに分かれ、地域住民とともに今後取り組みたい防災と福祉まちづくりの活動を話し合いました。話し合いの中で「災害時の要支援者リストを作成したい」「防災に対する意識の差をどう解消するか？」など、日ごろの備えや各地区での防災の取り組みやボランティアの受入れなどについて、情報交換を行いました。今後、各地の取り組みに生かしていただければと思います。

連携支援室 29-1238



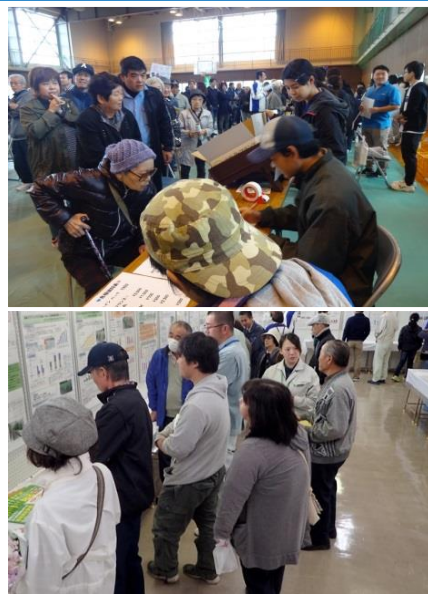
おめでとう!! 全国アビリンピック銀賞獲得!!

11月2日(金)から5日(月)まで、沖縄県で開催された「第38回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)」の製品パッキング部門に、山形航空電子株式会社の高野叶夢さんが出場しました。

結果は、見事「銀賞」に輝きました!大会の山形県内選手団の中でもトップの成績です。おめでとうございます!!

この度、総合支庁に成績報告に来ていただきました。昨年は「銅賞」。一歩ずつステップアップしています。来年は愛知県での開催。「金賞」目指して頑張ってください!

地域産業経済課 29-1306



農大祭・産地研究室参観デー開催

11月3日(土・祝)、農林大学校に於いて「農大ハンパないって」をテーマに「第35回農大祭」を開催しました。学生が主体となって、学習成果の展示や、自らが作った農産物や加工品の販売を行い、たくさんの方にお越しいただきました。また、「早食い・早飲みりレー」「クイズ大会」「抽選会」等のイベントも開催し、会場を盛り上げました。

産地研究室参観デーも同時に開催し、研究成果紹介コーナーではアスパラガスやニラ、山菜類、おうとうの栽培技術などの展示を行いました。

来場されたの方々の関心も高く、いちごやラズベリージャムの試食も大好評でした。

農林大学校 22-1527 産地研究室 22-2201

第34回まるごとさけがわ鮭まつり&第54回肘折温泉郷なめこ・こけし祭り

秋の最上地域は各地でお祭り三昧!!

10月28日(日)に鮭川村で「まるごとさけがわ鮭まつり」が開催されました。まつりには須藤支庁長が出席し、8月の豪雨で村に大きな被害があった中、無事にまつりが開催されたことをお祝いしました。これまで34回のまつりのうち約7割が雨天開催となる鮭まつり。今年是小春日和の下、会場中に、子ども達の賑やかな声が響きわたっていました。

11月12日(月)には大蔵村で「肘折温泉郷なめこ・こけし祭り」が開催されました。訪れた大勢の観光客は、このまつりでしか味わえない「特製なめこ汁」の振舞いと、名物肘折こけしの即売会などを楽しみ、大いに満足していたようです。

最上の秋まつりはここで一段落。これからは冬本番です。雪を活用した多彩なイベントが各地で開催されます。雪景色を眺めながらの温泉など、冬の最上にも是非お越しください!!



観光振興室 29-1312

お知らせ

受賞おめでとうございます

大高根農場記念山形県農業賞



金山活粋野菜倶楽部
にら部会（金山町）



齊藤菊雄氏
（最上町）

最上農業賞



松坂雄一氏（戸沢村）



(有)鮭川えのきセンター（鮭川村）

農林水産大臣賞 山形県ベストアグリ賞



(株)アイオイ（鮭川村）

地域産業経済課 29-1309
農業技術普及課 29-1326

最上川→鶴岡直行便運行開始

- ◆運行日 12月～1月（土日祝）
※1/1、1/2 運行
- ◆運航日程 13:15 発 川の駅くさなぎ
14:00～15:00 羽黒山
16:00 鶴岡駅
- ◆料金 大人 6,000円 / 小人 5,000円
- ◆申込み先 最上川交通株式会社 Tel.0233-34-7051
観光振興室 29-1311

「おいしく残さず食べきろう！」

忘年会や新年会が増える12月・1月。
宴会時の食べ残しを減らすため、次の「宴会5箇条」を実践してみましょう。
環境課 29-1287

宴会 5 箇条 +

- 1 まずは、**適量注文!!**
- 2 幹事さんから「おいしく食べきろう！」の声かけ
- 3 開始直後や終了前は、席を立たずにしっかり食べる**食べきりタイム**を設けましょう
- 4 食べきれない料理は**仲間**で分け合おう
- 5 それでも、食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう

「心臓病の子どもを育てる親の講演会」

- ◆日時：12月13日（木）13:30～16:00
- ◆場所：最上総合支庁 調理・加工研修室
- ◆内容：講演「心臓病との程よい付き合い方 ～おとなへの移行ってなに？～」、懇親会
- ◆対象：心臓病のお子さんのご家族、関係機関等
講演は、関係機関の方も参加可能です。
子ども家庭支援課 29-1361

東北イブニングサロンネットワーク設立

夕方から企業の方々が優良な事例を発表し合うイブニングサロン。この度、「もがみ」・「みちのく奥州」・「こまち」の3つのサロンがネットワークを構築。記念イベントを下記のとおり行います。
◆日時 12月14日（金）18:00～
◆場所 メモリアルプラザ大地会館
◆内容 3サロンからの事例発表、情報交流会
地域産業経済課 29-1309

第82回最上夜学の開催について

- 今年2回目の最上夜学。山形大学の教授から研究シーズを話していただきます。
- ◆話題提供者 山形大学理学部理学科 脇克志 教授
 - ◆テーマ 仕事とデータサイエンス
学校で学んだ「数学」は好きですか？
 - ◆日時 12月21日（金）18:00～
 - ◆場所 総合支庁講堂 地域産業経済課 29-1306

《最上管内献血日程》12月

12月5日（水）舟形町中央公民館・えんじゅ荘・光生園
12月9日（日）マックスバリュ新庄店
詳細な時間等は保健企画課へお問い合わせください。皆様のご協力をお願いします。
保健企画課 29-1258



発行日：平成30年12月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)

Twitter

